

# 第7編 地域活動の支援

## 第1章 研修

### ポイント

- ・地域保健・福祉・環境関係職員研修は、地域の課題に応じた内容を嶺南地域の企画検討委員会で企画し、一般研修と専門研修により実施した。
- ・若狭地域保健研究会は、平成30年度は、「新型インフルエンザ住民接種計画を実現可能なものに」を統一テーマとして、担当する市町・健康福祉センターが企画から評価までを主体的に実施した。

### 1 地域保健福祉環境関係職員研修事業

地域特性に対応した複合的で質の高いサービスを提供できるよう、地域保健・福祉環境関係職員の資質の向上を図ることを目的に、嶺南地域で研修を企画・実施した。

研修に関して、実施計画の策定、実施および評価についての検討を行うために、嶺南地域で企画検討委員会を開催し、一般研修と専門研修を企画・実施した。(表1~4)

表1 平成30年度 嶺南地域企画検討委員会開催内容

回	第1回	第2回
開催日	平成30年5月9日(水)	平成31年3月20日(水)
会場	リブラ若狭 第2会議室	リブラ若狭 第2会議室
出席者数	検討委員9名 事務局6名 (若狭地域 検討委員5名 事務局3名)	検討委員8名 事務局6名 (若狭地域 検討委員5名 事務局3名)
協議事項	平成30年度研修事業計画の検討	平成30年度研修実績の評価・検証について 令和元年度研修事業について

表2 平成30年度企画検討委員(若狭地域)

No.	所属	役職	氏名
1	委員長 若狭健康福祉センター	医幹	高木 和貴
2	小浜市子ども未来課	グループリーダー	大西 博美
3	高浜町保健福祉課	主査	山崎 徹
4	おおい町介護福祉課	課長補佐	前田 茂善
5	若狭町保健医療課	課長補佐	霜中 典子
6	若狭健康福祉センター	次長(環境衛生)	徳山 郁弘

表3 一般研修実施状況

回	第1回 ※二州	第2回 ※二州
テーマ	食中毒・感染症予防 ～基礎知識、予防、発生時の対応～	災害時の備え ～医療ニーズの高い在宅療養者の理解と停電時の対応～
目的・目標	(目的) 県・市町の関係課の職員が、食中毒や感染症等に対する集団健康危機管理に関する理解を深め、予防並びに発生時にスムーズな情報共有・対応がとれる。 ①食中毒や感染症に関する基礎知識を学ぶ。 ②所属課の対応と関係機関（各所属間・市町本庁・保健所・教育委員会等）との連携方法の現状を確認・理解する。 食中毒や感染症発生予防に向けて、各所属での対策や連絡体制を整備する。	(目的) 医療ニーズの高い在宅療養者の緊急時に備えた支援体制を整備する。 ①在宅医療機器の実際を確認し、医療ニーズの高い在宅療養者の生活状況をイメージする。 ②医療ニーズの高い療養者の実態から、災害時の対応について市町ごとに現状・課題を明らかにする。 ③今後の体制整備に向けて、「自助・共助・公助」としてすべきことを整理し、行政の役割を考える。
対象	県および市町の防災・保健医療・福祉・環境・教育の関係職員	県および市町の防災・保健・福祉・環境等の関係職員、 難病対策地域協議会構成員
実施日	平成30年5月23日（水）9:30～11:30	平成31年1月22日（火）14:00～16:30
会場	リブラ若狭 2階研修室	三方青年の家
内容	◇講義 「食中毒予防と発生時の対応」 「感染症予防と発生時の対応」  ◇演習 事例をもとにグループ討議および発表	◇報告「要介護者の避難行動等の状況」について調査報告  ◇講義 ・『災害時の備え～医療ニーズの高い在宅療養者の理解と停電時の対応～』 ・事業者から医療機器（デモ機）の説明と停電時の対応 ◇市町ごとにグループワークおよび発表、助言
講師	二州 HWC 生活衛生課 橋詰課長 二州 HWC 地域保健課 辻主任	(報告者) 若狭 HWC 地域保健課 石原主事  (講師) 福井県立病院 リハビリテーション室（福井県 ALS 協会事務局）小林室長 MITAS ライフケア事業部、帝人在宅医療株式会社、PHILIPS 福井営業所
参加数	49人	61人

表4 専門研修実施状況

回	第1回 ※若狭	第2回 ※若狭
テーマ	妊娠・出産包括支援体制	協働のまちづくりの進め方 ～健康・医療・福祉分野を意識して～
目的・目標	母子保健・子育て支援関係職員が、人間が親として成長していくプロセス、母性・父性の健全な育ちを理解し、事業等に活用できる。 ・子育てにおける父親の役割を理解する。 ・母子密着型の子育てから父親参加型への移行に必要な支援を学ぶ。 ・親性の健全な育ちを支援する方法を学ぶ。 ・産後の妻への夫のサポートの重要性を理解し、その支援を学ぶ。 ・新しい両親学級の在り方を考えることができる。	県・市町のまちづくりや保健・福祉関係職員が行政として何ができるのか分野を超えて考える。 ・各市町の庁内各課が健康づくりや福祉の視点を取り入れた住民主体のまちづくりをすすめていく必要性に気付く。 ・各市町の保健福祉担当課とその他の課が連携して取り組めることを具体的に考えることができる。
対象	県および市町の保健・保育・福祉等の関係職員、産科医療機関・助産所職員	県・市町の保健・福祉・介護関係職員、包括支援センター職員、まちづくり課職員等
実施日	平成30年11月2日（金）14:00～16:30	平成31年3月7日（木）14:00～16:30
会場	リブラ若狭 2階研修室	リブラ若狭 2階研修室
内容	◇講演「親性を育む支援～支援者に求められること～」 ◇グループワーク	◇講義 『協働のまちづくりの進め方～健康・医療・福祉分野を意識して～』 ◇ワークショップ 『分野横断事業のアイデア出し』 ◇発表、講評
講師	京都大学霊長類研究所 教授 正高信男氏	福井県立大学地域経済研究所・経営学研究科 江川誠一氏
参加数	47人	23人

## 2 若狭地域保健研究会

地域において活動している保健等関係職員が、住民の健康増進を図るための総合的な保健対策が展開できるよう、関係職員による地域課題の研究、相互の研修、情報交換を実施している。平成30年度は、「新型インフルエンザ住民接種計画を実現可能なものに」を統一テーマとして、担当する市町・健康福祉センターが企画から評価までを主体的に実施した。(表5)

表5 平成30年度 若狭地域保健研究会

	日時・場所	内 容	担 当	参加数
第1回	6月4日(月) 若狭健康福祉センター	<b>平成30年度 若狭地域保健研究会について</b> 1 平成30年度 保健活動計画および重点課題について 2 平成30年度 若狭地域保健研究会について	若狭健康福祉センター	17人
第2回	8月6日(月) 若狭健康福祉センター	<b>新型インフルエンザ住民接種計画を実現可能なものに！</b> <b>PART1</b> 1 講義「新型インフルエンザ住民接種に必要な備え ～実践訓練から見えてきたこと～」 講師 越前市健康増進課 課長 小嶋 雅則 氏 主幹 宇野 順子 氏 2 グループワーク 「住民接種計画を実践へとつなげるために必要な備えについて～課題の整理～」	高浜町 ※二州管内も参加	20人
第3回	9月10日(月) 若狭健康福祉センター	<b>新型インフルエンザ住民接種計画を実現可能なものに！</b> <b>PART2</b> 1 接種対象者と会場の考え方について検討 2 住民接種のシミュレーションについて	高浜町 ※二州管内も参加	22人
第4回	12月25日(火) 若狭健康福祉センター	<b>新型インフルエンザ住民接種計画を実現可能なものに！</b> <b>PART3</b> 1 各市町のマニュアル紹介 2 意見交換	若狭健康福祉センター ※二州管内も参加	24人
第5回	3月11日(月) 若狭健康福祉センター	<b>新型インフルエンザ住民接種計画を実現可能なものに！</b> <b>PART4</b> 1 住民接種シミュレーションについて 住民接種訓練を受けて、再度マニュアルを見直す 2 意見交換	小浜市 おおい町 若狭町 ※二州管内も参加	22人

## 第2章 介護保険

### 1 介護保険制度の現状

管内の要支援・要介護認定者は増加傾向にある。(表1)

表1 要支援・要介護認定者数

(単位：人)

市町名	年度	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
小浜市	26	126	255	296	335	269	280	192	1,753
	27	102	277	266	331	243	301	193	1,713
	28	102	287	269	339	252	305	194	1,748
	29	43	154	238	439	345	302	188	1,709
	30	42	183	237	417	349	258	169	1,655
高浜町	26	31	106	86	116	80	92	54	565
	27	45	113	91	120	82	84	67	602
	28	43	112	95	123	83	89	67	612
	29	45	121	105	128	75	87	54	615
	30	49	120	103	128	86	88	46	620
おおい町	26	34	76	68	82	75	86	48	469
	27	43	71	69	79	74	80	52	468
	28	43	69	70	79	76	80	57	474
	29	26	70	73	113	76	71	53	482
	30	25	84	78	81	62	74	57	461
若狭町*	26	44	160	124	190	161	128	144	951
	27	55	174	128	187	162	141	138	985
	28	57	180	127	192	170	146	136	1,008
	29	40	138	119	249	186	128	121	981
	30	32	128	121	256	179	136	97	949
管内	26	235	597	574	723	585	586	438	3,738
	27	245	635	554	717	561	606	450	3,768
	28	245	648	561	733	581	620	454	3,842
	29	154	483	535	929	682	588	416	3,787
	30	148	515	539	882	676	556	369	3,685
県内	26	3,607	5,208	7,593	7,491	5,845	5,521	4,067	39,332
	27	3,569	5,430	7,964	7,566	5,863	5,715	4,076	40,183
	28	3,619	5,530	8,090	7,753	6,025	5,863	4,194	41,074
	29	3,036	4,910	8,155	8,154	6,307	5,964	4,085	40,611
	30	3,299	5,058	8,135	8,023	6,275	6,034	3,972	40,796

注1) 各年度末の状況である。

注2) \*旧三方町を含む。

### 2 地域包括支援センター連絡会

各市町の地域包括支援センター業務の充実・強化を図ることを目的に、管内の地域包括支援センターの情報交換や勉強会の場として、平成22年10月から地域包括支援センター連絡会(管内市町と美浜町が参加)を2か月に1回開催している。(表2)

表2 平成30年度地域包括支援センター連絡会実施状況

	日時・場所	内 容	担 当	参加数
第1回	4月18日(水) 若狭健康福祉センター	平成29年度地域包括支援センター事業について 1 30年度連絡会年間計画について 2 情報交換	高浜町	32人
第2回	6月20日(水) 若狭健康福祉センター	認知症の理解を深める 1 研修会「認知症の理解を深める」 講師 福井県立すこやかシルバー病院 看護部長 高嶋康子氏 2 認知症施策について意見交換	小浜市	18人
第3回	8月22日(水) 若狭健康福祉センター	生活支援サービスの体制整備 1 体制整備状況の報告 2 意見交換	若狭町	17人
第4回	10月17日(水) 若狭健康福祉センター	31年度事業予算について 1 介護予防・生活支援サービス事業 2 一般介護予防事業・包括的支援事業・任意事業 3 新規事業について	おおい町	11人
第5回	2月20日(水) 若狭健康福祉センター	フレイル予防・自立支援型地域ケア会議について 平成30年度事業内容と平成31年度新規事業について 1 フレイル予防事業について 2 自立支援型地域ケア会議について 3 平成30年度事業内容と平成31年度新規事業について	美浜町	22人

### 3 介護保険制度および在宅医療の推進に向けた支援

介護保険制度の推進を図るために、各市町や機関への支援を実施している。

(1) 地域ケア会議、地域包括支援センター運営協議会への支援

小浜市地域包括支援センターが開催する会議に委員として参加。

(2) 高齢者の権利擁護支援体制整備事業

各市町の高齢者虐待防止ネットワーク会議に委員として参加。

(3) 地域包括リハケアシステム推進事業

若狭地域リハビリテーション支援センター(杉田玄白記念公立小浜病院)が開催する運営委員会にオブザーバーとして参加。

(4) 医療と介護の連携に関するアンケートの実施

(5) 退院支援ルール策定に関する病院・ケアマネジャー会議の開催

	日時・場所	内 容	参加数
第1回	平成31年 3月1日(金) 若狭健康福祉センター	1 報告「医療と介護の連携に関するアンケート結果集計について」 2 事例報告「入退院時の連携での好事例」 3 意見交換「各機関の活用状況等」	24人

### 第3章 臨床医師研修

当センターでは、杉田玄白記念公立小浜病院の医師卒後臨床研修プログラムによる「地域保健・医療研修」を受入れている。(表1)

表1 臨床医師研修 受入れ状況

期 間	人数
平成30年5月28日～6月1日	1人

### 第4章 看護師学校養成所の在宅看護論等実習

平成29年から、敦賀市立看護大学の公衆衛生看護学実習の学生を受入れている。(表1)

表1 公衆衛生看護学実習 受入れ状況

期 間	人数
平成30年5月21日～25日	4人
平成30年6月25日～29日	4人